

たなばた
七夕

たなばた にほん でんとうてき ぎょうじ まいとし しちがつなのか
七夕は、日本の伝統的な行事です。毎年、七月七日にあ
ります。この日は彦星と織姫が会うことができる日です。
ひこぼし まじめ おとこ こ うし せわ おりひめ
彦星は真面目な男の子で、牛の世話をしています。織姫
は、機織りが上手な女の子です。二人は結婚しましたが、
なか よ しごと かみさま はたら
仲が良すぎて、よく仕事をサボっていました。神様は働か
ない二人を見て、怒りました。そして、二人を離れ離れにし
ました。おりひめ あま がわ ひがしがわ ひこぼし にしがわ す
織姫は天の川の東側に、彦星は西側に住まなくて
はなりませんでした。(天の川は星が集まってできた川で
す。) かみさま ふたり み おも
神様は二人を見て、『かわいそう』と思いました。それ
で、いちねん いっかい あ ゆる しちがつ
一年に一回だけ、会うことを許しました。それが、七月
なのか ひ だいす ひと あ ふたり
七日です。その日は、大好きな人に会うことができ、二人
はとても幸せですから、人々の願いを叶えてくれます。だ
から、わたし たんざく ねが か ふたり み
私たちは短冊に願いを書いて、二人から見えるよう
に、たけ かざ たんざく いろいろ いろ
竹に飾ります。短冊は色々な色があって、とてもきれい
です。

